

# 安全工学シンポジウム 2026

**主 催** 日本学術会議 総合工学委員会・機械工学委員会合同工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会

**共 催** 日本機械学会（幹事学会）他 30 学協会

**会 期** 2026 年 6 月 24 日（水）・25 日（木）・26 日（金）の 3 日間

**会 場** 日本学術会議（東京都港区六本木 7-22-34）ならびにオンライン配信（ハイブリッド開催予定）

〔交通〕東京メトロ千代田線「乃木坂」駅 5 出口

※講演者は、学術会議会議室で発表をしていただきますが、コロナウイルスの状況によってはオンライン開催のみとなる可能性があります。

**発表申込開始** 2026 年 1 月 15 日（木）

**発表申込締切** 2026 年 2 月 15 日（日）

**予稿原稿締切** 2026 年 4 月 15 日（水）

**講演形式** 口頭発表（1 題 20 分（講演 15 分、討論 5 分））のみ。

日本学術会議主催「安全工学シンポジウム 2026」は、安全工学に関する各分野における問題点提起、優れた研究成果の講演と技術交流により、安全工学および関連分野の発展に寄与することを目的とし、特別講演をはじめオーガナイズドセッション、パネルディスカッション、一般講演等の開催が予定されております。皆様の多数のご参加をお待ちしております。

**講演申込方法** 講演希望者は、安全工学シンポジウム 2026 ホームページよりお申し込み下さい。

**予稿原稿** 審査の結果、採択された講演については、A4 判 2 頁または 4 頁の原稿を PDF 形式で提出していただきます。

**参加登録費** 無料。講演予稿集は希望者に配布します（予価 1 部 5,000 円。但し、学生は 1 部 2,000 円）

**参加登録予約申込方法** 安全工学シンポジウム 2026 ホームページよりお申し込みください。

**注意事項** コロナウイルスの状況によって、会場・参加登録方法・予稿集の形式が変更となる可能性がございます。

会場内における参加者個人での録音、撮影は禁止いたします。

## 申込先・問合先

**事務局**：一般社団法人 日本機械学会

TEL: 03-4335-7610（学会事務局）

E-mail [anzen@gakkai-web.net](mailto:anzen@gakkai-web.net)（シンポジウム事務局代行）

<https://www.anzen.org/index.html>

## 安全工学シンポジウム 2026 開催概要

### 1. 安全工学シンポジウム 2026

### 2. 主催：日本学術会議

### 3. 共催（予定）

安全工学会	化学生学会	火薬学会	計測自動制御学会
自動車技術会	静電気学会	地域安全学会	低温工学・超電導学会
電気学会	電気化学会	電気設備学会	電子情報通信学会
土木学会	日本化学会	日本火災学会	日本機械学会(静力学)
日本技術士会	日本原子力学会	日本建築学会	日本高圧力技術協会
日本航空宇宙学会	日本材料学会	日本信頼性学会	日本船舶海洋工学会
日本鉄鋼協会	日本人間工学会	日本燃焼学会	日本非破壊検査協会
日本溶接協会	日本リスク学会	日本冷凍空調学会	日本素材物性学会

### 4. 協賛（予定）

応用物理学 会 粉体粉末冶金協会	日本地震工学会 日本保全学会	日本経営工学会 日本ロボット学会	日本プラントメンテナンス協会
------------------------	-------------------	---------------------	----------------

開催日：2026年6月24日(水)・25日(木)・26日(金)開催予定

会場：日本学術会議ならびにオンライン配信（ハイブリッド開催）

（東京都港区六本木7-22-34）

〔交通〕東京メトロ千代田線「乃木坂」駅5出口

※講演者は、学術会議会議室で発表をしていただきますが、コロナウイルスの状況によってはオンライン開催のみとなる可能性があります。

講演申込締切：2026年2月15日（日）

### — 講演申込要項 —

#### 1. 一般講演募集部門

- ① 事故、災害に関する安全の概念
- ② 安全と人間性、社会特性（ヒューマンファクターを含む）
- ③ システムの安全性と信頼性（リスクアナリシス、セーフティアセスメントを含む）
- ④ 事故防止に関する検査・診断技術
- ⑤ 安全制御技術（ロボット、自動化システムを含む）
- ⑥ 建設に関する安全性と信頼性（計画、設計、施工、施工管理など）
- ⑦ 電気、電子および情報に関する安全性と信頼性（コンピュータ関連システム、セキュリティを含む）
- ⑧ 機械に関する安全性と信頼性（非破壊検査、構造健全性、寿命予測を含む）
- ⑨ 輸送に関する安全性と信頼性（航空、宇宙機、船舶、車両、道路など）
- ⑩ 燃焼、火災、爆発に関する安全性
- ⑪ 有害物質、環境に関する安全性
- ⑫ 自然災害（地震・水・土砂災害）と安全
- ⑬ 都市計画と安全
- ⑭ 災害と救急医療
- ⑮ 安全と危険予知
- ⑯ 製品と安全、P Lの実証
- ⑰ 医療・福祉に関する安全
- ⑱ その他の安全性に関する科学（理学、薬学、農学、医学などとの境界分野を含む）、技術、教育、国際基準など

## 2. 講演時間

1題につき 20 分（講演 15 分、討論 5 分）。なお、原則として PC プロジェクターを使用します。

## 3. 一般講演の採否とプログラム編成

講演は既発表のものでも、新たに纏めたものであれば申し込みを認めます。講演の採否は、本シンポジウム実行委員会にご一任願います。なお、本シンポジウムでは、一般講演と別に、適当なトピックスを選んでオーガナイズドセッション(OS)を設ける予定です。一般講演応募分のうち OS テーマの内容と合致する論文は、オーガナイザーの判断によりその OS に組み入れる場合があります。また、一般講演応募分は、発表セッション名が講演募集部門と異なる場合があります。

## 4. 講演申込み方法

講演希望者は、安全工学シンポジウム 2026 ホームページ (<https://www.anzen.org/index.html>) 内の講演申込みフォームに記入しお申込み下さい。

- ①講演希望部門（前記の 1. 項による）
- ②講演題目（後で変更のないように留意下さい）
- ③講演者氏名（当日の講演者を筆頭にして下さい）
- ④所属学協会ならびに会員資格（1名以上が共催学協会の会員であること）
- ⑤勤務先
- ⑥連絡者住所、電話番号、FAX 番号、E-mail アドレス
- ⑦講演概要（200 字以内にまとめて書いて下さい）

## 5. 講演予稿集原稿の提出

①原稿は 2 頁または 4 頁で日本語または英語にて作成し、PDF 形式で提出して下さい。原稿のテンプレートはホームページ上にありますのでダウンロードしてご利用下さい。テンプレートを用いない場合はホームページ上に掲載されている執筆要領に基づいて作成して下さい。なお、原稿は、ホームページ上の原稿提出のページ内のフォームに従って提出して下さい。

- ②原稿締切日：2026 年 4 月 15 日（水）

## 6. 参加自由：入場無料

## 7. 講演予稿集は予価 1 部 5,000 円。但し、学生は 1 部 2,000 円で配布します。

## 8. 講演予稿集 コロナウィルスの状況によって、会場・参加登録方法・予稿集の形式が変更となる可能性があります。

## 9. お問い合わせ先

事務局：一般社団法人 日本機械学会

TEL: 03-4335-7610 (学会事務局)

E-mail [anzen@gakkai-web.net](mailto:anzen@gakkai-web.net) (シンポジウム事務局代行)

<https://www.anzen.org/index.html>